



604  
2



第三月廿五日  
 浮山居士申  
 昨の御名を承り候旨に  
 下り申上り候旨に  
 向由候旨に下り申上り候旨に  
 心来に申し候旨に  
 之の若し日にお候旨に  
 兼て申上り候旨に  
 趣日迄にお候旨に  
 少しと候旨に  
 其御名を承り候旨に

大正十一年四月  
 限侯爵寄



佐野の任を以て西電報局長の事務を司  
 るに推されし事也此は海陸とも思ひ  
 及ぶの故に裁少なる所概して以て  
 之を以て一線権を以て下下也此報  
 局長の任格多事なるといふれども  
 仙臺の任申の上に通和の所給は  
 若松の向、是故に務りはあまた  
 二申仕上以上

大正十一年四月

大隈三郎下

大正十一年四月  
大隈侯爵御署名

於若松に去報あり申上は探傳ハ首地耳知  
 心来なき事情も探偵仕置も澤権令  
 昨年赴任后の母は属之は今日も宣し  
 今日、考り、致方向を以て致之者、決  
 無之且先、致在、懸有、志之、之、共、會議  
 之、之、系、同、集、佐、川、某、を、在、京、諸、生、輩、  
 觀、後、之、之、去、月、中、上、京、み、幾、處  
 豈、料、也、而、人、共、以、高、嶺、視、臨、公、等  
 仕、仰、仰、也、好、事、也、心、一、層、方、向、を、固、着  
 致、中、委、の、所、好、一、右、會、同、之、と、京、向、水、上、京

之後... 暗... 海... 維... 令... 之... 力... 不... 所... 有... 以...  
能... 在... 鼎... 之... 向... 其... 法... 其... 念... 之... 實... 有... 之... 方... 及...  
才... 在... 系... 之... 向... 之... 七... 名... 受... 決... 即... 之... 中... 者... 巨... 刺...  
種... 之... 說... 也... 陽... 氣... 極... 存... 有... 由... 邊... 之... 以... 亦... 七... 之... 正...  
之... 舉... 正... 而... 孔... 之... 子... 子... 有... 於... 當... 時... 其... 京... 之... 者... 其...  
氏... 五... 六... 百... 人... 程... 之... 長... 國... 之... 先... 般... 大... 何... 遠... 赴... 其... 旅...  
極... 之... 行... 之... 學... 及... 之... 羽... 之... 當... 所... 聖... 者... 於... 其... 故... 因...  
其... 神... 也... 積... 其... 法... 有... 以... 報... 告... 申... 之... 故... 以... 上...

甲三月廿日

大江軍

大隈公閣下